

# 郷土資料

## あれこれ 80

【問合せ】

社会教育課 郷土史編さん係

☎773-2197

### 隧道は後山への青の洞門

大正末期、六日町小学校高等科3年生が帰省の途中に雪の後山峠で遭難するなど、後山の中心部までの交通に難儀しました。

後山の元藪神村長 小川泰夫を先頭に、苦労を重ねながら後山トンネルが掘削されました。田中角栄（当時、大蔵大臣）は当時の村人たちの苦労と努力をたたえ、菊池寛の小説で有名な僧 禅海の苦節30年、九州の青の洞門にちなみ「昭和の青の洞門」と命名しました。（大和歴史かるた）より一部省略、加筆し転載）

小川泰夫がトンネルの掘削を思い立ったのは藪神村長であった昭和18年のことだそうです。峠の急坂は、いくつも曲折していたため「四十八曲峠」と呼ばれていました。昭和37年、この峠道にトンネルが完成し、延長約5キロメートルの道路が開通しました。この後山トンネルの開通に尽力した小川の功績をたたえた胸像は、峠を見下ろすように建立され

ました。（石碑①）また、記念碑も建立されています。（石碑②）南魚沼市の石碑①  
小川泰夫氏像「記念碑」



〔後山〕

南魚沼市の石碑の青の洞門「記念碑」

〔後山〕



昭和56年に着工された新路線は、平成2年に完成し、曲折した峠は直線的となり、交通の利便性が図られました。同年10月16日に後山トンネルの竣工式が開催されました。後山トンネルの一村尾側の壁面には、かつて八色原一面に咲いたという「八色つつじ」のレリーフが刻ま



ミズバショウのレリーフ



八色つつじのレリーフ（竣工式の様子）

れています。（写真1右）後山側のトンネル入口手前の側壁の両面には「後山地区の自然」と題したレリーフが刻まれています。春の訪れを伝える「ぜんまい」の群生、山間の尾根に時折姿を見せる「日本かもしか」、初夏に地区の湿地にみえる「ミスバショウ」など地域の自然がモチーフとなっています。（写真1左）

写真1 後山トンネルのレリーフ

### のびのび越後上布体験講座 塩沢の織物にふれる一日

【問合せ・申込み】

社会教育課 文化振興係

☎773-13756

FAX: 772-18161

越後上布や塩沢紬など南魚沼で受け継がれている織物の技術を、この夏に体験してみませんか。おにぎりや豚汁の昼食があります。

日時 7月26日(金)

午前9時～午後3時30分

会場 鈴木牧之記念館ほか

対象 市内の小学3年～6年生

内容 苧麻の刈取り、苧引き、藍染、機織りの体験（予定）

参加費 1,500円（昼食代含む）

締切り 7月17日(水)

申込み 電話かファックスでお申し

込みください。

申込み



苧麻から繊維を取り出す苧引き体験